

舟橋聖一顕彰文学賞

舟橋聖一顕彰文学賞は、舟橋聖一さんの功績をたたえ、広く青少年の文学奨励をはじめとした教育・文化の振興を図るために設けています。18～30歳の青年を対象とした第29回「青年文学賞」には全国から39編の応募が、近畿各府県および滋賀県

に隣接する各県の小・中学生・高校生を対象とした第32回「文学奨励賞」には、計130編の応募がありました。

選考の結果、次のとおり受賞作品を決定しました。
※高校生の部は、該当者なし



〔青年文学賞〕

最優秀賞

入倉 直幹さん
(東京都練馬区)

海岸通り (小説)



佳作
坂本 如さん
(東京都小金井市)

視線 (小説)



〔文学奨励賞〕

〈小学生の部〉

第1席
川村 瞳衣さん
(旭森小学校3年)

「夏休みの思い出」(作文)



第2席
松田 天音さん
(城西小学校2年)

平和って何だろう(作文)



第3席
山岡 琴星さん
(天津市立瀬田北小学校5年)

あいさつをするの意味(作文)



〈中学生の部〉

第1席
陌間 紗佳さん
(西中学校3年)

沖縄、修学旅行記(紀行文)



第2席
中村 真実さん
(西中学校2年)

今の気持ち(作文)



第3席
林 文一郎さん
(京都市立近衛中学校2年)

空と草(紀行文)



授賞式を行いました

12月2日に、舟橋聖一文学賞と舟橋聖一顕彰文学賞の授賞式を彦根ビューホテルで行い、受賞者一人ひとりに市長から賞状が授与されました。



問い合わせ先
市立図書館
☎ 22-0649
FAX26-0300

マイナンバーカード交付 休日開庁日

マイナンバーカードを交付するため、次の日程で休日開庁を行います。

▼開庁日 12月24日(日) 午前9時30分～午後1時(受付午前9時30分～午後0時30分)
問い合わせ先 両市民課 ☎ 30・6111番、FAX22・1398番

期限は1月31日(水)です 償却資産の申告を

償却資産とは、事業のために使うことのできる土地・家屋以外の資産(※)です(下表参照)。償却資産は、土地や家屋と同じように固定資産税の課税対象です。このような事業用資産(貸し付けているものを含む)を市内に所有している人は、毎年1月1日現在の、その償却資産の所在地、種類、数量、取得時期、取得価格、耐用年数などを申告する必要があります。
※これに類する資産で、法人税または所得税を課税されていない人が所有する資産を含みます。
マイナンバー(個人番号・法人番号)を記載してください
提出の際は、本人確認資料

償却資産の例

構築物	門、塀、庭園、広告塔、舗装路面、仮設の建物、電気設備、空調設備、サービス設備、テナント負担分の内装、建築設備 など
機械、装置	旋盤、ボール盤、ミシン、ウインチ、ホイスト、クレーン、受変電設備、自走式作業用機械、太陽光発電設備 など
船舶	ボート、漁船、汽船 など
航空機	飛行機、ヘリコプター など
車両、運搬具	動力運搬車、手押し車、大型特殊自動車(ただし、自動車税が課税されているものは除く) など
工具、器具、備品	切削(せっさく)道具、測定工具、陳列ケース、複写機、パソコン、医療機器、ネオンサイン、看板、接客用家具 など

(マイナンバーカードの表面など)と番号確認資料(マイナンバーカードの裏面など)を持参してください。代理人による申告の場合は、右記に加え代理権確認資料(委任状など)を、それぞれ申告書に添付してください。
平成30年度より申告書様式が一部変更になる人がいます。対象者には、変更後の様式を送付します。
インターネット(エルタックス)でも申告できます。
窓口に来たり、郵送したり

する手間が省けるだけでなく、複数の自治体への申告も一度の送信でできます。詳しい申告方法は、エルタックスのホームページ(<http://www.etax.go.jp>)をご覧ください。
エルタックスで申告する場合は、マイナンバーの確認資料は不要です。
問い合わせ先 両税務課 資産税係 ☎ 30・6138番、FAX22・1398番

第11回 舟橋聖一文学賞

『福袋』(小説)
朝井 まかてさん
(大阪府大阪市)



撮影/森清(講談社)

舟橋聖一文学賞は、文学の振興を通じて、市民が豊かな心を育み、香り高い文化を築くため、彦根市の名誉市民である作家の故 舟橋聖一さんの文学の世界に通じる優れた文芸作品に贈ります。
この賞は、公募式でなく、基準日を設け、その基準日より前のおおむね1

年間に新しく単行本として刊行された優れた小説を対象としています。
「舟橋聖一文学賞」が「文学奨励賞」「青年文学賞」に応募する人の刺激となり、創作活動の目標、励みとなるように、また、広く地域文化の振興が図れるよう期待します。

プロフィール

1959年大阪府生まれ。2008年、第3回小説現代長編新人賞奨励賞を『実さえ花さえ』(のちに『花競べ 向嶋なすな屋繁盛記』に改題)で受賞してデビュー。2013年に『恋歌』で第3回本屋が選ぶ時代小説大賞、2014年に同書で第150回直木賞、『阿蘭陀西鶴』で第31回織田作之助賞、2015年に『すかたん』で第3回大阪ほんま本大賞、2016年に『眩』で第22回中山義秀文学賞を受賞。